

# 清元院だより

縁をつなぎ 安心をとどけるお寺

春を待つ菜の花のふたば

## 第16号



### 《誌上法話⑩》「身施」

身施とは、他のために尽くす気持ちを体で示し実行することです。誰かの役に立ちたい、何かをしたいと思うことはあっても、実際にはなかなか行動をできない…ということは誰しも経験のあることだと思えます。

清元院の門前の田んぼには、雪の下に「菜の花」の芽がたくさん出ています。寒さに耐えながら、黄色い花を一面に咲かせる春をじっと待っています。門前には耕作されていない田んぼが三枚。お寺のある宮木集落の皆さんが「お寺の前を荒らしてはいけない」と春には菜の花、秋にはコスモスが咲くようにボランティアで管理してくださっています。

大本山永平寺を開かれた道元禪師さまは『修証義』の中で「見返りを求めず、自分の力を人々に分け与えなさい」とおっしゃっています。

耕し、種をまき、草を刈り、花が終わればまた次に向かい、年に二回繰り返すこの作業。誰かにほめてもらおうと思っている人はなく、いつも笑顔で和気あいあいと作業をされています。門前の田んぼを見るたびに「身施」の言葉が頭に浮かび、素直に「ありがとうございます」の気持ちになるのです。

おっさん教えて

以西仏さまめづり

活動紹介（清元院梅花講）

のんのんさん

イベント情報・お知らせ等

発行：曹洞宗大梁山清元院 住職 井上英之  
佛歴二五六五年 令和四年一月一日

## 【おじわん教ネット②】

（※注）おじわん＝和尚わんのいん

この「コーナー」では、みなさんから寄せられた、仏教やお寺への質問に丁寧に答えたいと思います。

Q1：仏壇やお墓があるのに、どうして位牌堂があるんですか？

A：住職が毎日、ご先祖の供養をお勤めするためです。

住職はできることなら、毎日すべてのお檀家の仏壇を拜んであげたい、お檀家のみなさんも毎日住職に仏壇を拜んでもらいたい…。でもそれは無理な話ですよ。そこでどちらの願いもかなえるためにできたのが位牌堂です。

毎年年末にお願いしている「祠堂料（しどうりょう）」は住職が勤めるこのご供養へのお礼なのです。（※諸説あります）

なお、鳥取県中部のように、どのお寺にもお檀家さん一軒ずつの名札付きの位牌堂は全国でも珍しく、鳥取県中部独特の位牌堂文化のようです。（県内東西部、出雲地方にも中部から広がったと言われています。）



Q2：法事は、大勢で拜んだほうが、よい供養になりますか？

A：参列人数の多少より、心のこもった供養が良い供養です。

清元院では、「供養とは、自分の生き方をお供えすること」とお伝えしています。供養される立場になって想像してみてください。一番うれしいお供えは、自分が命や縁をつないだ人が一所懸命に生きている姿ではないでしょうか。そして少しでも良い自分をお供えできるよう、日々を丁寧に生きようとする心を込めて手を合わせるのです。

仏となった大切な方々は、「ちえっ。今日の法事は人数が少ないな…」なんて言われませんか。（笑）

【おまけ】各家庭の事情で、家族や夫婦だけ、一人だけの法事でもよいのです。場所もお寺で拜むだけでも構いません。終わってからの食事がなくても失礼ではありません。大切なのは形はどうあれ、供養の気持ちを伝える法事を拜んで差し上げることが大事です。

## 以西「仏さまめぐり」③

【竹内 観音堂】  
観音さま

阿弥陀さま

お地藏さま

竹内公民館の裏に、観音堂と石のお地藏様がひっそりとたたずんでいます。

観音堂の詳細は不明ですが、観世音菩薩と阿弥陀如来の2体が安置されています。昭和11年に彩色修理した記録が残っています。

お堂のとなりには地藏菩薩の石仏があります。「伯耆国 致正」という石工の作で、「文政十（一八二七）年八月村中」の刻字があり江戸時代の約200年前に竹内の人々がお金を出し合って安置したことが分かります。

観音様は苦しみの声を聞いて駆けつけてくださる仏様、阿弥陀様は極楽浄土へ導いてくださる仏様、お地藏様は身代わりとなり救済してくださる仏様です。

江戸時代、竹内の人々の、幸せに生きることを願う気持ちが込められています。どうぞ3体の仏様、竹内のみなさん、末永くお見守りください。





## ◆活動紹介◆ 『清元院 梅花講（ご詠歌）』（毎月2回練習）

ご詠歌とは、いわば仏教の讃美歌。曹洞宗の作法でお唱えする心が安らぐ仏教の歌です。毎月2回 午前9時30分から、明るい笑い声とともにご詠歌の練習が始まります。途中ティータイムで一息。（これが1番盛り上がります！）先生はお寺の大きい奥さん。現在講員は7名。大ベテランから最近始めた方までいろいろです。初心者には道具も衣装も貸し出します。お檀家でない方もあり、敷居の低い梅花講です。清元院梅花講の特徴は「元気で声が大きい」こと（笑）。年に数回、法要中に唱えていただき皆さんに披露します。お釈迦さまが悟りを開かれた記念日の12月8日には成道会という法要を行い、習いたてのご詠歌と和讃を唱えました。上手になることも大事ですが、声を響かせ、すっきりした気持ちになっていただくことが魅力です。参加希望の方は遠慮なくご連絡ください。見学・体験大歓迎です！お待ちしております♪

《お父さん・お母さんより》  
 コロナ禍でいろいろなと暮らしが変  
 わる中、毎日にぎやかに過ごし、大き  
 な病気もせず、すくすくと育ってくれ  
 てうれしく思います。これからもいっ  
 ぱい遊んで、いっぱい食べて、いっぱ  
 い勉強して、3人仲良く健やかに育っ  
 てね。

御崎智則さん、愛さんのお子さん。  
 ・翔星くん（11さい）  
 ・幸愛さん（9さい）  
 ・勇翔くん（3さい）



（左）幸愛さん（中央）勇翔くん（右）翔星くん

のんのんさま  
 元気な子どもたちをご紹介  
 かがやく宝ほとけの子

# お知らせ&Events

## 3/27 はすとも 大募集

桜の花が咲く頃、3月27日(日)午後1時半からハスの蓮根を植え替えます。全部で50鉢です。住職一人では大変です。そこで蓮友(はすとも)を募集し、みなさんと一緒に蓮を植え、育て、花を楽しみたいと思います。お手伝いいただいた方には蓮をおすそ分け致します。みなさん「はすとも」に参加して蓮を楽しみませんか! (※汚れてもよい服装で!)



## 「てらとも」 大募集

てらとも(寺友)は、清元院の日常のちよつとした作業や行事のお手伝いをしてほしいよ! お寺を使って会やイベントをしてみようかな! という人たちの集まりです。お檀家でも檀家でなくても構いません。都合のつくときに都合のつく方で行います。

現在11名です。お檀家でない清元院ファンの方もおられます。気楽な会ですので、やってみようかなという方は住職に一声かけてください。

## 2/15 涅槃会法要へどうぞ

2月15日10時から「涅槃会法要」を行います。この日は、お釈迦さまの命日です。お釈迦さまの残してくださった教えに感謝し、自分の生き方を振り返る日です。30分ほどで終わります。梅花講のご詠歌も聞けますよ。どうぞ皆様気軽においでください。

## 3/12 大般若法要へどうぞ

3月12日10時から「大般若法要」を行います。大般若經の功德と秋葉さんの力で、檀家や信徒のみなさんの安心と健康・諸願成就を祈禱する法要です。

### 【終了後は「落語会」】

桂小文吾改め、上方落語「六代目桂文吾」襲名後、初の清元院での高座です。その弟子「桂吾空」との共演をお楽しみみてください!



## 令和3年 清元院で お寺体験された方々

- 坐禅会 のべ19人
- 写経写仏切仏の会のべ95人
- お寺ヨガ のべ60人
- お地藏様作り教室のべ46人
- ことっ子クラブ 学童保育20人
- 久米中学校 42人
- 琴浦こども塾 15人
- 大栄大島いきいきサロン 10人
- 由良宿2区いきいきサロン20人
- はわい温泉いきいきサロン20人
- 船上小学校1年生 20人
- 赤碕小学校2年生 35人
- 美野梨つくしグループ10人
- 中部につこりの会 20人
- 大誠子ども園へ (職員)
- 法恩寺へ (盆法話)
- 八橋小学校へ (保護者)
- 学校茶道倉吉支部(研修会)
- 赤碕小学校へ(6年保護者)
- 逢東長生会へ (高齢者)
- 赤碕小学校へ(6年児童)
- 社小学校へ (保護者)

## 【法話・講演活動】

- ◆ 四月までの行事予定
  - ◇ 1月1〜3日 三朝祈願
  - ◇ 2月15日 涅槃会10時
  - ◇ 3月12日 大般若法要10時
  - ※終了後「落語会」
  - ◇ 3月20日 お地藏作り教室 (午後1時半)
  - ◇ 3月21日 彼岸会先祖供養
  - ◇ 3月27日 蓮の植え替え (午後1時半)
  - ◇ 4月3日 ランドセル祈願 (午前10時)
  - ◇ 4月10日 花まつり (午前10時)
- ◆ 月例行事
  - ◇ 写経写仏の会
    - ・ 第1日曜 午後3時
    - ・ 第3水曜 午後7時30分
    - ※今年から平日夜に変更します
  - ◇ 坐禅会
    - ・ 第4水曜 午後7時30分
  - ◇ お寺ヨガ
- ◆ 令和四年 年回表
 

一周忌	令和三年
三回忌	令和二年
七回忌	平成二十八年
十三回忌	平成二十二年
十七回忌	平成十八年
二十五回忌	平成十年
三十三回忌	平成二年
五十回忌	昭和四十八年



清元院

住職 井上 英之

〒689-2522 鳥取県東伯郡琴浦町宮木 57  
 Tel.0858-55-7063 fax 0858-55-7064 携帯 090-4923-8768  
 メール [inoter1@mx1.tcbnet.ne.jp](mailto:inoter1@mx1.tcbnet.ne.jp) facebook :井上英之 清元院